

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月12日

【四半期会計期間】 第65期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 大東港運株式会社

【英訳名】 DAITO KOUN CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 曾根好貞

【本店の所在の場所】 東京都港区芝浦四丁目6番8号

【電話番号】 03(5476)9701(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 荻野哲司

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝浦四丁目6番8号

【電話番号】 03(5476)9701(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 荻野哲司

【縦覧に供する場所】 大東港運株式会社 大阪支店
(大阪府大阪市港区築港二丁目1番2号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第64期 第3四半期 連結累計期間 | 第65期 第3四半期 連結累計期間 | 第64期 |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日 | 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日 | 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日 |
| 営業収益 (千円) | 13,700,213 | 14,407,770 | 17,660,866 |
| 経常利益 (千円) | 435,773 | 650,222 | 487,896 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 248,561 | 389,522 | 283,177 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 220,458 | 618,355 | 329,284 |
| 純資産額 (千円) | 3,518,588 | 4,179,830 | 3,627,413 |
| 総資産額 (千円) | 9,017,662 | 9,923,814 | 9,838,689 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 26.48 | 41.50 | 30.17 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 39.0 | 42.1 | 36.9 |

| 回次 | 第64期 第3四半期 連結会計期間 | 第65期 第3四半期 連結会計期間 |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日 | 自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 13.02 | 18.11 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、円安と株高の進行、復興需要の継続と企業収益の回復ならびに個人消費・雇用・生産活動の改善基調等により自律的回復に向けた動きが継続しました。

ただし今後においては、消費税率引上げに伴う消費者マインドへの懸念が残されました。

海外においては、米国は個人消費や民間投資の拡大により緩やかに成長し、欧州も一部に景気底入れ感が台頭する一方で、新興国は自国の通貨安懸念が生じ、中国も景気減速懸念が継続しました。

かかる環境下、当第3四半期連結累計期間における物流業界におきましては、アジアは堅調に推移し、欧州に関しても回復の動きが見られました。また米国からの輸入も持ち直しの動きが見られました。輸出に関してはこのところ全般的に弱含みの状態となりました。

その中で当社取扱いの大きな部分を占める食品の輸入は、畜産物は冷凍の牛肉・豚肉を中心に増加、水産物は減少、果実・野菜等については増加傾向となりました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいても持ち直しの動きが見られました。

このような状況の中、当企業集団は「『ありがとう』にありがとう。」のコーポレートフィロソフィーの下で、第4次中期経営計画「お客さま信頼度ナンバーワンを目指して」の最終年度を迎え、その各施策一つひとつに取り組むとともに積極的な受注活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比5.2%増の14,407,770千円となりました。経常利益は前年同期比49.2%増の650,222千円、四半期純利益は前年同期比56.7%増の389,522千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[港湾運送事業および港湾付帯事業]

港湾運送事業は、港湾施設使用料収入およびコンテナ運送料収入が増加したため、営業収益は前年同期比8.3%増の7,312,574千円となりました。

陸上運送事業は、コンテナ運送料収入が増加したため、営業収益は前年同期比9.7%増の2,562,169千円となりました。

倉庫業は、入出庫作業料収入および保管料収入が増加したため、営業収益は前年同期比3.9%増の2,601,661千円となりました。

通関業は、輸入申告料収入が増加した一方で輸入食品衛生検査料収入が減少したため、営業収益は前

年同期間比 8.7%減の1,691,496千円となりました。

この結果、港湾運送事業および港湾付帯事業の営業収益は前年同期間比 5.4%増の14,167,902千円となり、セグメント利益は前年同期間比 18.6%増の1,213,502千円となりました。

[その他事業]

その他事業は、不動産付帯収入の減少により、営業収益は前年同期間比 7.2%減の239,868千円となり、セグメント利益は前年同期間比 40.5%減の14,411千円となりました。

セグメント別営業収益

| 区分 | 前第3四半期連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日 | | 当第3四半期連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年12月31日 | | 前年同期間比 | |
|--------------------|--|------------|--|------------|---------|------------|
| | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 増減比 (%) |
| 港湾運送事業及び 港湾付帯事業 | 13,441,852 | 98.1 | 14,167,902 | 98.3 | 726,049 | 5.4 |
| 港湾運送事業 | 6,749,929 | 49.3 | 7,312,574 | 50.7 | 562,645 | 8.3 |
| 陸上運送事業 | 2,335,583 | 17.0 | 2,562,169 | 17.8 | 226,586 | 9.7 |
| 倉庫業 | 2,503,913 | 18.3 | 2,601,661 | 18.1 | 97,748 | 3.9 |
| 通関業 | 1,852,426 | 13.5 | 1,691,496 | 11.7 | 160,930 | 8.7 |
| その他事業 | | | | | | |
| その他事業 | 258,360 | 1.9 | 239,868 | 1.7 | 18,492 | 7.2 |
| 合計 | 13,700,213 | 100.0 | 14,407,770 | 100.0 | 707,557 | 5.2 |

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態の分析

(総 資 産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,923,814千円となり、前連結会計年度に比べ85,125千円増加いたしました。主な要因は現金及び預金が675,762千円、有価証券が99,981千円、繰延税金資産が164,024千円それぞれ減少したものの、受取手形及び営業未収入金が551,247千円、投資有価証券が474,580千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負 債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,743,984千円となり、前連結会計年度に比べ467,291千円減少いたしました。主な要因は支払手形及び営業未払金が323,589千円、預り金他(流動負債・その他)が99,735千円それぞれ増加したものの、短期および長期借入金が894,494千円、賞与引当金が107,946千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純 資 産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,179,830千円となり、前連結会計年度に比べ552,416千円増加いたしました。主な要因は利益剰余金が323,821千円、その他有価証券評価差額金が222,231千円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 37,589,000 |
| 計 | 37,589,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 普通株式 | 9,389,000 | 9,389,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は1,000 株であります。 |
| 計 | 9,389,000 | 9,389,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成25年12月31日 | | 9,389,000 | | 856,050 | | 625,295 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式4,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 9,382,000 | 9,382 | |
| 単元未満株式 | 3,000 | | |
| 発行済株式総数 | 9,389,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 9,382 | |

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|--------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 大東港運株式会社 | 東京都港区芝浦4-6-8 | 4,000 | | 4,000 | 0.0 |
| 計 | | 4,000 | | 4,000 | 0.0 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,390,917 | 1,715,155 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 2,646,224 | 3,197,471 |
| 有価証券 | 99,981 | - |
| たな卸資産 | 226,073 | 182,469 |
| 前払費用 | 39,947 | 70,378 |
| 繰延税金資産 | 115,688 | 68,976 |
| その他 | 308,714 | 317,744 |
| 貸倒引当金 | 17,777 | 21,110 |
| 流動資産合計 | 5,809,769 | 5,531,085 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 415,646 | 390,634 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,623 | 4,297 |
| 土地 | 1,412,637 | 1,412,637 |
| リース資産(純額) | 57,523 | 73,788 |
| その他(純額) | 55,067 | 54,814 |
| 有形固定資産合計 | 1,946,498 | 1,936,173 |
| 無形固定資産 | 466,336 | 403,715 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 538,891 | 1,013,472 |
| 破産更生債権等 | 145,294 | 78,289 |
| 繰延税金資産 | 347,266 | 229,954 |
| その他 | 727,992 | 807,460 |
| 貸倒引当金 | 143,361 | 76,337 |
| 投資その他の資産合計 | 1,616,084 | 2,052,839 |
| 固定資産合計 | 4,028,919 | 4,392,728 |
| 資産合計 | 9,838,689 | 9,923,814 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 1,469,098 | 1,792,688 |
| 短期借入金 | 1,057,492 | 643,492 |
| 未払法人税等 | 95,042 | 142,722 |
| 賞与引当金 | 226,942 | 118,996 |
| その他 | 345,898 | 445,633 |
| 流動負債合計 | 3,194,474 | 3,143,533 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,646,183 | 1,165,689 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 187,701 | 187,701 |
| 退職給付引当金 | 1,029,512 | 1,063,603 |
| 役員退職慰労引当金 | 2,199 | 3,196 |
| 長期未払金 | 77,240 | 77,240 |
| その他 | 73,963 | 103,019 |
| 固定負債合計 | 3,016,800 | 2,600,450 |
| 負債合計 | 6,211,275 | 5,743,984 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 856,050 | 856,050 |
| 資本剰余金 | 625,295 | 625,295 |
| 利益剰余金 | 2,059,060 | 2,382,882 |
| 自己株式 | 1,062 | 1,300 |
| 株主資本合計 | 3,539,343 | 3,862,927 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 52,495 | 274,727 |
| 土地再評価差額金 | 29,849 | 29,849 |
| 為替換算調整勘定 | 5,724 | 12,325 |
| その他の包括利益累計額合計 | 88,069 | 316,903 |
| 純資産合計 | 3,627,413 | 4,179,830 |
| 負債純資産合計 | 9,838,689 | 9,923,814 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 営業収益 | 13,700,213 | 14,407,770 |
| 営業原価 | 10,716,286 | 11,194,759 |
| 営業総利益 | 2,983,926 | 3,213,011 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,553,543 | 2,564,267 |
| 営業利益 | 430,383 | 648,744 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,533 | 3,373 |
| 受取配当金 | 7,317 | 7,368 |
| 受取保険金 | 4,185 | 559 |
| 受取地代家賃 | 3,624 | 4,647 |
| 複合金融商品評価益 | 3,246 | - |
| 有価証券償還益 | - | 834 |
| その他 | 9,515 | 11,294 |
| 営業外収益合計 | 31,422 | 28,078 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25,088 | 22,018 |
| 複合金融商品評価損 | - | 4,264 |
| その他 | 943 | 316 |
| 営業外費用合計 | 26,032 | 26,599 |
| 経常利益 | 435,773 | 650,222 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,879 | 124 |
| 投資有価証券売却益 | - | 6,420 |
| 特別利益合計 | 1,879 | 6,545 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,294 | 1,627 |
| 投資有価証券評価損 | 1,497 | - |
| ゴルフ会員権評価損 | 350 | - |
| 特別損失合計 | 4,141 | 1,627 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 433,511 | 655,140 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 130,251 | 227,109 |
| 法人税等調整額 | 54,698 | 38,509 |
| 法人税等合計 | 184,950 | 265,618 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 248,561 | 389,522 |
| 四半期純利益 | 248,561 | 389,522 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 248,561 | 389,522 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 27,814 | 222,231 |
| 為替換算調整勘定 | 287 | 6,601 |
| その他の包括利益合計 | 28,102 | 228,833 |
| 四半期包括利益 | 220,458 | 618,355 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 220,458 | 618,355 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 170,922千円 | 158,702千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年5月18日 取締役会 | 普通株式 | 65,700 | 7.00 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年5月17日 取締役会 | 普通株式 | 65,700 | 7.00 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益計 算書計上額 (注)2 |
|----------------------------|--------------------|---------|------------|-------------|---------------------------|
| | 港湾運送事業及び 港湾付帯事業 | その他事業 | 合計 | | |
| 営業収益 | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する営業収益 | 13,441,852 | 258,360 | 13,700,213 | | 13,700,213 |
| (2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | | 68,216 | 68,216 | 68,216 | |
| 計 | 13,441,852 | 326,576 | 13,768,429 | 68,216 | 13,700,213 |
| セグメント利益 | 1,022,948 | 24,201 | 1,047,150 | 616,767 | 430,383 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用616,767千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益計 算書計上額 (注)2 |
|----------------------------|--------------------|---------|------------|-------------|---------------------------|
| | 港湾運送事業及び 港湾付帯事業 | その他事業 | 合計 | | |
| 営業収益 | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する営業収益 | 14,167,902 | 239,868 | 14,407,770 | | 14,407,770 |
| (2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | | 48,670 | 48,670 | 48,670 | |
| 計 | 14,167,902 | 288,539 | 14,456,441 | 48,670 | 14,407,770 |
| セグメント利益 | 1,213,502 | 14,411 | 1,227,914 | 579,170 | 648,744 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用579,170千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 26円48銭 | 41円50銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益(千円) | 248,561 | 389,522 |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 248,561 | 389,522 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 9,385,798 | 9,385,456 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資

平成26年2月4日開催の取締役会において、コンテナインランドデポの建設を決議いたしました。

1. 目的

当社主要荷主の物流拠点隣接地を取得し、コンテナを一時保管するためのコンテナインランドデポを建設することにより、主に主要荷主の物流拠点への輸送サービス体制の強化ならびに効率化を図るものです。

2. 設備投資の内容

土地の取得及びコンテナデポの建設

建設予定地 兵庫県三木市 ひょうご情報公園都市

投資予定総額 土地、構築物及び機械設備等を含む投資総額は約15億円～18億円を見込

ん

でありますが詳細は現在策定中であります。

資金調達方法 自己資金および銀行借入にて行う予定です。

3. 完成予定時期

土地の取得日 平成26年2月4日

インランドデポの竣工予定 平成26年11月

インランドデポの稼動予定 平成26年12月

4. 当該設備が営業活動に及ぼす重要な影響

関西地区における物流サービスの更なる効率化を見込んでおります。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

大東港運株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 湯 浅 信 好 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 有 川 勉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大東港運株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大東港運株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。